

## 「長岡市高齢者日常生活圏域ニーズ調査」の実施について

第5期介護保険事業計画策定にあたり、地域の課題や高齢者のニーズ等を的確に把握するため、国が新たに示した手法に基づき日常生活圏域ニーズ調査を実施する。

### 1 調査の目的

- (1) 日常生活圏域単位で高齢者の要介護リスク等の指標を把握・集計することにより、ニーズや地域の課題をより今まで以上に的確に把握

※ニーズ：調査の結果等をもとに判断した支援の必要性

- (2) 介護保険事業計画の客観的基礎データの整備  
 (3) 健康への意識を高める契機とするため回答者に個人結果表の返却  
 (4) 介護予防事業対象者の把握

### 2 調査概要

#### (1) 対象者

65歳以上で要介護認定を受けていない方	約 58,600 人	(介護予防事業対象者把握に活用)
65歳以上で在宅の要支援1、2及び要介護1、2の判定を受けた方	約 6,100 人	

- (2) 調査期間 5月と秋(概ね9月ころ)の2回に対象者を分けて実施  
 (3) 調査方法 記名式の調査票を郵送により配布・回収  
 (4) 調査項目
- ・ 基本情報（世帯構成、疾病状況、住まいの状況、所得状況等）
  - ・ 機能状況（運動、閉じこもり、転倒、口腔、栄養、うつ、認知症等）
  - ・ 日常生活状況（ADL、IADL、社会参加リスク） ほか

#### (5) 集計、分析、調査報告書作成

- ・ システム開発、集計等業務 株式会社NS・コンピュータサービスに業務委託
- ・ 分析及び調査報告書作成業務 早稲田大学スポーツ科学研究センターに業務委託

- (6) 調査結果 回答者には、今後の介護予防、健康づくりに活用してもらうため、個人結果表を送付

### 3 調査票

別紙のとおり